

2025年度 第3回理事会 議事録

日 時：2025年11月1日（土）14：00～16：00

開催方法：現地と Web のハイブリッド開催

議事録署名人：出席した理事長、副理事長、監事

出席（現地）：大西宏明理事長、吉田博会計理事、森兼啓太総務理事、松下弘道理事（4名）

出席（Web）：堀田多恵子、松下一之、増田亜希子、井上克枝、下澤達雄、山崎正晴 各理事
志村浩己、中山智祥、伊藤弘康、長尾美紀、末廣寛各支部、山田俊幸監事（12名）

欠席：柳原克紀副理事長、上原剛理事、高橋聡、橋口照人支部理事、諏訪部章監事（5名）

I 開会、理事長挨拶（大西宏明 理事長）

続いて挨拶があり、過半数の理事が出席していることを確認し開催要件を満たしていることが告げられ理事会を開始した。

II 報告事項

1. 支部報告

各支部報告の2025～2026年度の支部例会・総会の開催報告と予定、支部所属の人事変更等について報告された。

2. 各種委員会報告

1) 利益相反委員会（山崎正晴 委員長）

8月29日に開催された委員会において、①外部委員の推薦、②「医学研究の利益相反（COI）に関する指針」および「細則」の改定案、③日本医学会 COI 管理ガイドライン 2025 の HP 掲載、④学会の組織 COI 開示、⑤役員などの COI 自己申告書について審議し、その内容を理事会に諮問したことが報告された。

2) 臨床検査室医療評価委員会（堀田多恵子 担当理事、松下弘道 委員長）

①「COVID-19 パンデミックと臨床検査体制」アンケート調査に関して英文誌への投稿準備していること、②「ポストパンデミックの臨床検査体制」アンケート調査に関して、日本臨床検査医学会誌に投稿中であること、③「臨床検査室の取り組みと課題に関する全国実態調査 2025—タスク・シフト/シェア、認定・認証、医療 DX の現状を探る—」アンケート調査を行う予定であることが報告された。

3) 統合システムに基づく臨床検査のあり方委員会（堀田多恵子 担当理事）

①8月29日に2025年度第1回委員会を開催したこと、②8月30日に第72回学術集会で特別シンポジウム「JLAC11 が駆動する未来の医療：臨床検査データの二次利用と持続可能な保険医療体制の構築に向けて」を開催したことが報告された。

4) 専門医制度委員会（松下弘道 委員長）

①日本専門医機構認定臨床検査専門医 更新基準改訂（診療実績の免除の廃止）の対応として代替試験を実施すること、②名誉臨床検査専門医認定制度規定を変更したこと（日本専門医機構に確認中）、③アメリカ AP/CP 資格保持者の専攻医研修要件の免除について検討したことが報告された。

5) 日本専門医機構認定臨床検査専門医研修プログラム認定委員会（松下弘道 委員長）

①2025年度実施第5回日本専門医機構認定臨床検査専門医受験を希望する3年以上の専門研修を終了した16名の専門研修修了書類を審査し、全員の専門研修修了を確認して承認したこと、②2026年度基幹施設の研修プログラムの一次審査認定を行い日本専門医機構に二次審査依頼をしたことが報告された。なお、それぞれの施設数は、更新申請4施設（5年目にあたる施設）、新規申請3施設（筑波大学、埼玉医科大学、産業医科大学）、変更申請30施設（内 統括責任者交代6施設）、廃止申請1施設。

6) 国際委員会（下澤達雄 委員長）

①2025 年度国際学会奨励賞受賞候補者を選考し國宗勇希、畑山祐輝、佐藤直和の 3 氏を受賞者として推薦したこと、②World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine (WASPaLM) 2025 (Oct14-17, 2025、インド) における JSLM セッション The Frontier of Infectious Disease Testing で、村上正巳座長のもと上原由紀先生: Molecular epidemiology of MRSA from the clinical laboratory. 宇野直輝先生: CRISPR gel: a molecular diagnostic tool for infectious diseases. 上義典先生: Quantitative measurement of infectious disease antibody titers using smart devices.が講演すること、③2025 年度 ASCPaLM で康東天先生に講演 Common-Use Reference Interval and Japan Laboratory Code (JLAC)を依頼したこと、Board Meeting に下澤と康先生が出席予定のこと、2026 年 10 月 2 日～4 日に台北で開催予定であることが報告された。

3. 第 71 回学術集会報告（大阪 2024/11/28(木)～12/1(日)、日野雅之 会長）（森兼啓太 総務理事）

2024 年 11 月 28 日（木）～12 月 1 日（日）に、大阪国際会議場（グランキューブ大阪：大阪）において、日野雅之会長（大阪公立大）のもと、テーマ：臨床検査学の魅力と多様性にせまる」として対面+会期後のオンデマンド配信のハイブリッド形式で開催され、下記の概要であったことが報告された。

- ・臨床検査領域講習・共通講習：教育講演、シンポジウムなど 33 企画。
- ・オンデマンド配信：21 企画（視聴人数は延べ 495 名、合計再生回数は 7,422 回）
- ・情報交換会：立食形式で開催し 65 名参加。
- ・参加登録：会員 981 名、非会員 459 名、大学院生 73 名、研修医・学生 46 名、名誉功労会員と招待者 75 名、合計 1,634 名参加。
- ・一般演題数（口演・ポスター）： 234 題
- ・協賛状況：ランチョンセミナー15 社（団体）、コーヒープレイクセミナー4 社、スポンサードセミナー2 社、商業展示 15 社、書籍展示 1 社、プログラム集広告 32 社、バナー広告 5、寄付 8 社（団体）

4. 第 72 回学術集会報告（千葉 2025/8/28(木)～8/31(日)、大西宏明 会長）

2025 年 8 月 28 日（木）～31 日（日）、千葉県幕張メッセにおいて、大西宏明会長（杏林大）のもと、テーマ：「楽しく学ぼう臨床検査」として、対面+会期後のオンデマンド配信のハイブリッド形式で開催され下記の概要であったことが報告された。

- ・臨床検査領域講習・共通講習：教育講演、シンポジウムなど 30 企画、うち 19 企画をオンデマンド配信した。（視聴人数は延べ 442 名、合計再生回数は 6,092 回）
- ・意見交換会（軽食）：77 名参加。
- ・参加登録：10/28 現在までに会員 873 名、非会員 363 名、大学院生 52 名、研修医・学生 24 名、名誉功労会員/招待者 80 名、合計 1,392 名参加。
- ・一般演題数（口演・ポスター）： 202 題
- ・協賛状況：ランチョンセミナー9 社（団体）、スポンサードシンポジウム 1 団体、商業展示 13 社、書籍展示 1 社、プログラム集広告 12 社、バナー広告 5、寄付 5 社（団体）、物品提供 1 社

5. 第 73 回学術集会報告（千葉 2026/12/17(木)～12/20(日)、吉田 博 会長）

2026 年 12 月 17 日（木）～20 日（日）、千葉県幕張メッセにおいて、吉田博会長（慈恵医大）のもと、テーマ「プラネタリーヘルスへと進む新時代の医療～プラットフォームを担う臨床検査医学～」として、対面とオンデマンド併用で開催予定であり、越智小枝副大会長、政木隆博事務局長、運営事務局は（株）サンプルネットメディカルコンベンションが担当すること、演題募集期間は、2026 年 5 月 26 日（火）～6 月 30 日（火）予定であること、そして次項の企画を予定していることが報告された。

シンポジウム 10～12 個、委員会企画 8～10 個、POC セミナー、Catch up セミナー、RCPC、特別講演 1～2 個（東京大学橋爪真弘先生他）、教育講演：4 個、会長講演、医学会連合加盟学会連携フォーラム（日本医療情報学会）、ICD 講習会、一般演題（口演・ポスター）、共催セミナー（ランチョンセミナー、コーヒープレイクセミナー）。

6. 2025 年度実施 第 5 回機構専門医試験、第 17 回管理医試験合格者について（大西宏明 理事長）

1) 第 5 回日本専門医機構認定臨床検査専門医試験

2025 年 8 月 3 日（日）、東京大学医学部で実施した。

機構専門医受験希望者 15 名（他 1 名は受験辞退）、学会専門医受験希望者初回受験 0 名（直前で 1 名は受験辞退）。機構専門医の一次審査で 11 名が合格（合格率 73.3%）、4 名が不合格となった。

なお、日本臨床検査医学会臨床検査専門医認定試験は、2025 年度で終了となることが報告された。

2) 第 17 回臨床検査管理医講習・認定試験

2025 年 9 月 23 日（火：祝日）、三井記念病院講堂において実施し、33 名が受験し全員が合格したことが報告された。

7. 本学会からの関連団体派遣委員について（更新）（大西宏明 理事長）

2025 年 7 月 19 日、第 2 回理事会以降に推薦した関連学会、団体への派遣委員の報告があった。

8. PMDA への体外診断薬の不具合報告について（大西宏明 理事長）

厚生労働省 PMDA 体外診断薬副作用や不具合報告は、医薬品のサイトに含まれているが、リーフレットに体外診断用医薬品の受付が追加されたことが報告された。オンラインサイトについては令和 10 年度以降の対応となる予定であることが報告された。

9. その他

特になし。

Ⅲ 審議事項

1. 2025 年度中間事業報告について（森兼啓太 総務理事）

2025 年度中間の事業報告、各種委員会中間活動報告がなされ、承認された。

2. 2026 年度事業計画案について（森兼啓太 総務理事）

2026 年度事業計画（案）の説明がなされ、承認された。

3. 2025 年度会計中間実績・2026 年度予算案について（吉田 博 会計理事、大西宏明 理事長）

2025 年度中間実績：2025 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日の実際の収入と支出の実績額である。2026 年度予算案：収入、支出とも 2024 年度予算をほぼ踏襲していることが、日本臨床検査医学会誌が隔月となること、英文誌の PubMed Central への登録および IF 獲得を目指すための専用ホームページ作成費用、遺伝子関連検査精度管理医運用費用、e ラーニング収入などがあるため、それを反映した予算となっていることが説明、報告され、審議のうえ承認された。

4. 各種委員会、委員会名変更、委員長交代、委員交代、追加等について（大西宏明 理事長）

各種委員会の次項の報告があり、承認された。

1) 遺伝子検査認定医・専門医に関するアドホック委員会の名称変更について

資格の名称が遺伝子関連検査精度管理医となったため、委員会名も遺伝子関連検査精度管理医に関するアドホック委員会とする。

2) 学術推進委員会 委員長、委員について

委員長が浅井さとみ先生より佐藤雅哉先生に交代となり、委員については継続する。

3) 編集委員会委員交代

村野武義先生（東邦大）逝去のため、大川龍之介先生（東京科学大）に交代。

4) 保険診療委員会 委員追加

中野正祥（馬場記念病院）先生が追加となる。

5) ガイドライン作成委員会 委員交代

湯本真人先生（脳情報通信融合研究センター）が退任し、代田悠一郎（東京大）先生に交代となる

6) 検査項目コード委員会 委員追加

島井健一郎（滋慶医療科学大）先生、宮坂政紀（慈恵医大）先生が追加となる。

7) 利益相反委員会 外部委員推薦について

安部正義氏（アークレイ株式会社）が外部委員として追加となる。

5. 2026 年度専門医試験実行委員長・管理医試験実行委員長について（大西宏明 理事長）

2026 年度臨床検査専門医認定試験実行委員長として越智小枝先生（東京慈恵会医科大学）、2026 年度臨床検査管理医認定試験実行委員長として金子誠先生（三井記念病院）が推薦され、承認された。

6. 標準化委員会 学生用共通基準範囲 改訂案について（大西宏明 理事長、増田亜希子 担当理事）

日本臨床検査医学会では 2010 年 11 月に医学教育の場で臨床検査値の全国統一的判断を可能にすることで、診断学教育の効率化と標準化に資することを目的としたもの臨床検査値の学生用共通基準範囲を設定していたが、10 年以上経過し、日本臨床検査標準協議会（JCCLS）共用基準範囲、医療機関基準範囲が一般化したことや、ALP と LD の常用基準法の国際臨床化学連合（IFCC）の基準測定操作法と同一の測定法（IFCC 法）への変更を反映した学生用共通基準範囲改訂案が提案され、改訂については承認されたが、念のため委員会で数値、表記などに間違いがないか再確認することとなった。

7. 医学研究の利益相反（COI）に関する指針」および「細則」の改定案について（大西宏明 理事長、山崎正晴 担当理事）

日本医学会診療ガイドラインの改訂に伴い、「医学研究の利益相反（COI）に関する指針」および「細則」、日本医学会 COI 管理ガイドライン 2025 により学会 HP 掲載内容の改訂、学会の組織 COI 開示について、当学会、学術集会、特別例会、支部総会、支部例会での企業からの寄付金等のホームページ掲載、役員等の COI 自己申告書について自身の COI が必要となる等の提案があり、方向性が承認された。

8. パニック値結果表示における視認性向上に関する提言案について（大西宏明 理事長）

検査機器・試薬メーカー、臨床検査情報システム（LIS）開発会社、電子カルテベンダー宛に、日本臨床検査医学会理事長、チーム医療委員会担当理事、委員長およびアドバイザー名で、パニック値報告の視認性向上に関する要望書を送付する提案があり承認された。

9. 特定機能病院の新たな要件について（大西宏明 理事長）

特定機能病院の認定要件として、当学会に関することとして、日本専門医機構認定臨床検査専門医がいて臨床検査科があること、臨床検査領域専門研修プログラム基幹施設の指定を受けていることが必須要件となることが報告され、継続して対応策を検討していくこととなった。

10. JLAC11 について（大西宏明 理事長）

本年、厚労省から JLAC11 を電カル記録上の標準コードとすることが公開された。これに伴い、実務は JLAC センターが担当する。日本臨床検査医学会と医療データ活用基盤整備機構は、臨床検査項目分類 JLAC の付番規則の策定・改定ならびに付番の実施に係る業務について合意して、JLAC センターを運用していくことが報告され、合意内容について承認された。

11. 評議員(社員)再任予定者(2026/01/01 付)について（大西宏明 理事長）

2026 年 1 月 1 日付評議員再任予定者 26 名が提示された。再任手続きは、2025 年 12 月 26 日開催予定の評議員審査委員会での審査、審議会後となるが、評議員再任には社員総会の承認が必要のため、本理事会、2025 年 11 月 24 日の臨時社員総会の承認を得ておきたい。ただし、再任単位を満たさない場合は退任となることを前提に、2026 年 1 月 1 日付の評議員再任予定者 26 名について承認された。

12. 第 74 回学術集会報告・会期変更について（宇都宮 2027/11/11(木)～11/14(日)）（大西宏明 理事長、森兼啓太 会長）

2027 年 11 月、ライトキューブ宇都宮（栃木）において、森兼啓太会長（山形大）のもと開催を予定しているが、森兼会長から会期の短縮（日曜日に開催せず、木曜日から土曜日までの 3 日間とする）に関する提案があった。理由としては、会期を短縮することで開催費用を縮減することが可能であり、また参加者の負担を軽減することにつながると説明された。ここ数年の学術集会において日曜日が午前中のみで開催でセッション

ョン数も少なく、金曜日や土曜日にセッションが開催されていない会場もあることから、日曜日午前中のプログラムをそちらへ移して3日間で実施することは可能と考える、と説明があった。

この提案に対して、理事からは特に反対意見はなかった。理事長からは会期については当番の会長が決定するのが本来であるが、過去の経緯なども踏まえて合議によって決定するのが良いとの考えが示された。そこで、本件についてはこの場で決定せず、2025年末を目途に決定することとなった。

13. 2026年度からの評議員推薦について（大西宏明 理事長）

評議員の推薦について資格要件が確認され、次項の通り評議員として社員総会に推薦することが承認された。東北支部から齋藤紀先生、鈴木英明先生の2名、関東・甲信越支部から梅村啓史先生、志方えりさ先生、渡邊広祐先生の3名、東海・北陸支部から朝比奈彩先生、菊地良介先生、森永芳智先生、山下計太先生の4名、近畿支部から武村和哉先生、松村康史先生、山本正樹先生の3名、中国・四国支部から辻岡貴之先生、大塚文男先生の2名、九州支部から賀来敬仁先生の1名で合計15名

14. 第75回（2028年）学術集会 会長の推薦について（大西宏明 理事長）

2028年 第75回学術集会会長について、北海道支部より高橋聡先生（札幌医科大学）が推薦された。協議の結果、理事会として高橋聡先生を第75回学術集会の会長として社員総会に推薦することが承認された。

15. 遺伝子関連検査精度管理医制度規程の一部改定について（大西宏明 理事長）

前回7月19日の第2回理事会において、日本臨床検査医学会臨床検査専門医から日本専門医機構認定臨床検査専門医として更新するときにも遺伝子関連検査精度管理医として申請可能かどうかの確認依頼があった。当初の規程では申請は不可であったが、遺伝子検査認定医・専門医に関するアドホック委員会に確認と協議依頼があり、学会専門医から機構専門医に更新して学会での一次審査、機構での二次審査承認後に申請可能とする案が検討された。そのための一部改定案が提示され、承認された。

16. 学会賞・功労賞に関する規程の一部改定について（大西宏明 理事長、井上克枝 担当理事）

この数年、検査・技術賞の応募が非常に少なくなっているが、それは、学術賞か検査・技術賞の何れかのみが受賞可能となっているためという理由が考えられた。そのため、検査・技術賞から一定年数の業績により学術賞への応募を可能とした改定案が提示され、承認された。

17. 2026年度各契約更新について（大西宏明 理事長）

2026年度、次項の契約更新について検討され、承認された。

- ・顧問（弁護士：古川俊治先生、会計：野澤孝志先生）
- ・日本臨床検査医学会誌・英文誌編集製作：宇宙堂八木書店
- ・事務委託：宇宙堂八木書店
- ・外部販売：宇宙堂八木書店
- ・広告募集：日本廣業社、学術広告社
- ・ホームページ更新作業など：和田麻沙氏

18. その他

- ・支部総会・例会での参加者登録のためのバーコードリーダー支給について

支部のパソコンのリニューアルに関しては、前回の理事会において支部で用意いただくことになっていた。参加登録のためのバーコードリーダー（会員番号と氏名を読み込む）について、以前より簡易で高機能な機種（1台6万円程度）となったため、新たにバーコードリーダーを希望する支部があれば、学会が負担して配布するので、希望する支部は申し出るようにと報告があった。

- ・支部総会・例会の名称について

支部総会、例会ではなく地方会という名称を使用している支部があるが、支部総会・例会という名称で統一することで確認がなされた。

・2025 年度、2026 年度の理事会と定時社員総会の予定が報告された。

【2025 年度理事会・臨時社員総会日程】

2025 年度 臨時社員総会：11 月 24 日（月：振替休日）11：00～12：00

【2026 年度 理事会・定時社員総会日程】

第 1 回理事会(現理事・監事)：3 月 14 日（土）10：45～13：00（予定）

2025 年度に係わる定時社員総会：3 月 28 日（土）14：00～15：00、15：35～15：50

新理事・監事による第 1 回理事会（1 回目）：15：10～15：25

新理事・監事による第 1 回理事会（2 回目）：15：00～17：00

IV 閉会

以上

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し出席理事長および監事がこれに記名押印する

2025 年 11 月 1 日

一般社団法人日本臨床検査医学会 理事会

議長 理 事 長 大 西 宏 明

監 事 山 田 俊 幸